



桜川保育園

〒300-0048 土浦市田中三丁目4番5号

【TEL】029-821-8341 【FAX】029-823-0390

【E-mail】sakuragawa@showfukai.com

【URL】https://showfukai.com/

【発行責任者】施設長 宇都野 和司

※掲載写真は、保護者の同意を得ています。

桜川保育園

だより



新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、幸多き輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年より長くコロナ感染症の影響が続き、保育園の各種事業についても開園当初に思い描いていた本来の姿には戻ることができませんでしたが、可能な限り感染対策を徹底するとともに子どもたちの活動が制約されたものにならないよう様々な活動に取り組んできました。

そのような中で、一部の幼稚園や保育園における「送迎バスへの園児取り残し事故」や「保育士による園児虐待問題」が報道され、日本列島に大きな衝撃が走りました。

一方で、危機管理を徹底することや子どもの人権などを抜本的に見直す絶好の機会であると考えられています。また、来年度は『こども家庭庁』が創設されることにより、保育園は、更に多様化する子育てに対応しなければならぬため、私達にはそのスキルが求められています。

私も、昨年10月に「保育士」の資格を取得しましたので、これまで以上に保育園全体を見渡し、保育士や子どもの気持ちに寄り添いながら、「保育の質の向上」と「職員の意識の高揚」を図るとともに保護者の皆様の全力で支援してまいりたいと考えています。

今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

園長 宮本 ひろ子

新年あけましておめでとうございます。昨年は保育士による園児虐待のニュースが報じられ、保育に携わる者の一人としてたいへん心が痛みました。コロナ禍で保育士の仕事量も増える中、コミュニケーションの機会が減り、いろいろな不満が膨らんでの行動のようですが、虐待は絶対にあってはならないことです。

長い間同じ仕事をしていると何事にも慣れが生じ、問題意識が薄れて疑問をもたなくなりがちです。私たちは、このようなことが起きないように、子どもの人権に十分配慮するとともに、子ども一人ひとりの人格を尊重して保育を行っていかねばなりません。

今年は桜川保育園も開園4年目に入りますので、これまでの歩みを振り返り、反省や学びをもとに職員一同、新たな気持ちで足並みを揃え、「卯年」にちなんで、うさぎのように一歩一歩大きくジャンプしながら、前進できるような年にしたいと思っております。

今年もご協力のほどよろしくお願いいたします。

新春行事『獅子舞』

日本の伝統文化や行事を子どもたちに伝えようと、1月10日、今年も新春恒例の『獅子舞』を披露しました。

『獅子舞』には「人の頭を噛むこと」で、その人についた邪気を食べる」という言い伝えがあり、特に子どもは厄除けの効果が高まるとされていることから、獅子に頭を噛まれると学力の向上や無病息災、健やかな成長に繋がるとされています。

また、「噛みつく」という言葉が、語呂合わせで「神が付く」を連想させることから、お正月に獅子舞に頭を噛んでもらうと縁起が良く、その1年が元気に過ごせると考えられています。

最初は恐る恐る噛んでもらっていた子どもたちでしたが、慣れてくると「もっと噛んで！」と自分から頭を獅子の口に近づけていくなど、獅子との交流を笑顔で楽しんでいました。





無病息災



ならせ餅（そら組）

『ならせ餅』は、1月15日の小正月の前日（14日）に、フナやナラなどの木の枝に実がなるように紅白の丸餅を刺し、「20日の風に当てるな」（二十日正月）と言われていて、19日まで飾っておいて1年間の「五穀豊穡」や「無病息災」を祈願する日本古来の伝統行事です。
今年も1月14日が土曜日のため、前日の13日に行いました。

「サツマイモ」づくりに挑戦!

5月23日~12月26日



▲おやつ時間に試食

とっても
おいしい!



▲畝づくり

▲土づくり

よっこいしょ!



▲収穫した 150 本の
サツマイモ

ヤッター!

これで
いいのかな?

たくさん取れたよ!



▲苗植え



▲芋掘り

大き
な〜れ!



「そら組」と「つき組」が、開園後初めて『サツマイモ』づくりに挑戦しました。5月23日に、園舎東側の平地を耕運機で耕し、鍬で畝を作ってマルチ（黒いビニール）を張り、子どもたちが50本の「紅あずま」の苗を一本ずつ植えました。

10月20日は収穫の日。初めのうちは、手で土を触ることに躊躇していましたが、作業が始まるとその不安も吹き飛び、芋が見えるたびに「あった、あった!」「大きいよ!」など、歓声を上げながら夢中で掘り起こしていました。芋は大小合わせて150本で、12月26日のおやつ時間に収穫の喜びをかみしめながら、美味しく食べました。

自分たちで大切に育て、収穫したものを食べるという経験は、とても有意義なことなので、今後も芋や野菜の栽培を体験する機会を増やし、「生命」の大切さと「食」への興味や関心を高めていきます。



爽やかな秋晴れの中、「そら組」の親子18組が大型バスで『かみね動物園』に行きました。昨年7月にオープンした新猛獣舎「がおりこく」では、ラ

イオンやトラのほか、新たに仲間入りした2頭のジャガーを見たり猛獣のオブジェにまたがったりと、思い出に残る1日を過ごしてきました。

そら組親子遠足
日立市かみね動物園
10月26日

ハロウィン・パーティー 10月27日

「ハロウィン」のイベントは、国内でも年々盛んになってきています。保育園でも子どもたちが手作りの衣装を身にまとい、職員も様々な衣装に着替えて『ハロウィン・パーティー』を開催しました。

2歳から5歳児クラスの子どもたちが各保育室や事務室を回り、衣装を見せ合うなど、たいへん盛り上がっていました。最後は、事務室において、少し怖がりながらも、子どもたちが口にするおなじみの「トリック・オア・トリート！」（お菓子くれないと、いたずらしちゃうぞ！）の言葉に続いて、仮装した職員から大好きなお菓子をもらい大喜びでした。

季節のイベントとして、異文化に触れながら、いつもと違う特別な1日を楽しみました。



クリスマス会

12月23日

子どもたちが待ちに待った『クリスマス会』に、今年もサンタクロースがたくさんのプレゼントを持って来てくれました。
「メリー・クリスマス」と大きな声でお互いに挨拶を交わしながらプレゼントをもらい、「サンキュー」と英語で元気に返事をする子どもたちの顔は笑顔でいっぱいでした。
その後、プレゼントのお礼に、子どもたちが歌と踊りを披露しました。さらに職員がハンドベルによるクリスマスメドレーを演奏し、子どもたちやサンタクロースに楽しんでもらいました。
ゆめ組（0歳児）の子どもたちは、サンタクロースの登場に驚いて泣き出す子もいましたが、プレゼントをもらうとすぐに泣き止み、「クリスマス会」のひと時を十分に楽しみました。



お店屋さんごっこ

11月29日



に子社なく がを もせ 「に催
 樂ども性、き観ホち「そ強
 しんたや、れなールの「のいた
 でちコ日、いがルの組「象
 成がミの、だらで、開「の
 長イユ生、ね、は、店前子
 をメニ活、など、店にはも
 えジ―見、と、買1元気だ
 てしたシこ、は、つ5なさ
 いこンと豊だ食開園に、各
 きこ能やかな同物催内、し
 ます。大も験想士のをに、
 切身にた力会げ、今年度大
 にしつこや発が弾ん、おい
 がまを想力んでいね、の
 ら、かをい、ま、の録
 職こし育い、ま、の録
 員これなむだ、し、画
 もかがだ、し、映
 一らら、け、火
 緒も、で、火



▲焼きそば、お好み焼き ほか（そら組）



▲ジュース、わたあめ ほか（ほし組）



▲お面、ジャンボおみくじ（つき組）